



# 北光だより

児童養護施設  
北 光 学 園  
〒099-0702  
北海道紋別郡遠軽町  
生田原伊吹46番地3

「学園行事と人との繋がりについて」

園長 堤 茂樹

新年明けましておめでとうござい  
ます。昨年も、保護者の皆様、関係機  
関の皆様、地域の皆様など多くの皆  
様に支えていただき、誠にありがとう  
ございました。本年もよろしくお願  
い申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染が  
ようやく落ち着き、コロナ禍のため中  
止あるいは一部制限をしていた行事  
を行うことが出来ました。

まず、卒園生の交流の場である「友  
交会」を令和六年九月七～八日、七  
年ぶりに開催いたしました。この会  
は、初代会長である中澤さんが卒園

生に働きかけて発足し、昭和五四年九  
月に第一回の友交会が温根湯で開催  
されました。今回は第一三回目にあた  
り、第一回友交会が開催されてから四  
五年間続いていることとなります。

窪内会長はじめ卒園生の皆様、旧職  
員、三四人の皆様にお越しいたいただき、  
現職員を交えて夜遅くまで懐かしい話  
に花を咲かせたり、カラオケを楽しむ  
など、大変楽しい時間を過ごすことが  
出来ました。翌日は、北光学園で子ど  
もたちと交流していただきました。そ  
の際、友交会の皆様から、子どもたち  
へのメッセージとともに、子どもたち一  
人ひとりにお小遣いをいただき、学園  
にご寄付を賜りました。卒園生の皆様  
の温かい思いが子どもと職員にも伝わ

## 学園目標

「心」、「体」、「行」の調和がとれ、  
心豊かでたくましく生き抜く子ども  
を育てる。

つたと思いません。誠にありがとうござ  
いました。

友交会から一ヶ月後の令和六年一  
〇月五日～六日に、小さな子どもを持  
つ二〇代後半～三〇代前半の卒園生  
が、子どもを含め四〇人ほど町の宿泊  
研修施設「キララン清里」に集まり、旧  
交を温めました。ミニ友交会とも言う  
べきもので、小さな子どもを持つため  
に友交会に参加することが難しい卒園  
生が中心となって、今回初めて行われ  
たものですが、今後も開催されること  
になると思います。

卒園後も、卒園生の繋がりがあ  
るのには素晴らしいことだと思います。初  
代会長の中澤さんと二代目会長の木  
戸さんが我々は「血の繋がらないきよ

うだい」であるとおっしゃっていました。園生は、同じ屋根の下で生活を共にしています。生活を共にする中で、「自分は一人ではない」とに気づき、それが「血の繋がらないきょうだい」という意識に繋がっているのだと思います。

次に、高齢者との交流の場である「ふれあい交流会」を令和六年九月二日に実施することが出来ました。この行事は、遠軽町社会福祉協議会の武山次長さんが現在の副園長に提案したのが始まりということ。第一回ふれあい交流会は平成九年に行われ、今回が二四回目になります。前回は令和元年九月に行われましたので、実に五年ぶりということになります。

ふれあい交流会は、子どもたちが毎月文通している生田原地域の七〇歳以上の単身高齢者をご招待して交流する行事です。具体的には、ゲームや昔遊びを一緒にしたり、お食事や

呈茶席、よさこいを楽しんでいただくというものです。参加者が今回は七人（前回は一五人）と少なかったのですが、参加した皆様には楽しんでいただけたのではないかとと思っています。次回以降、少しずつでも参加者が増えるよう心を込めて行っていきたいと考えています。実施に当たっては、園生のボランティア部員が全面的に協力しております。高齢者との交流を通じて、高齢者に対するリスペクトと思いやりが育ってほしいと思っています。

最後は、普段お世話になっている皆様との交流の場である「クリスマス会」です。令和五年一二月にお客様をお呼びして実施する予定でしたが、園内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、急遽中止せざるを得なくなりました。令和六年一二月二一日にお客様をご招待して実施したのですが、前回お客様をお呼びして実施したのが令和元年一二月なので、ふれあい交流会と同じ五年ぶりになります。学校の先生とお

友だち、老人クラブの皆様、里親の皆様、関係機関の皆様、地域の皆様、法人の役員の皆様など、大人六七人、子ども二三人、計九〇人の皆様にご参加いただきました。こうしてお越しいただいた皆様をみると、如何に私たちが多くの方々に支えられているかが分かります。

今回のクリスマス会も、救世軍の真鍋先生に祈祷式を厳かに執り行っていただき、その後会食、最後に出し物を観ていただきました。出し物につきましては、お客様に良いものを見せたいと、子どもたちと職員が知恵を出し合い、毎日練習を積み重ねてきたものです。これらの努力する過程がクリスマス会が終わった後の達成感に繋がり、心の成長の糧になっています。お陰様で、お客様からも高評価を得ることが出来、子どもたちの自信にもなりました。

これからも、私たちは人との繋がりを大切にして行きたいと思えます。そ

れは、人との繋がりの中で子どもたちも職員も成長することが出来、そして人と人との繋がりの中に幸せがあると思うからです。

「友交会を終えて」

友交会会長 窪内 光一郎

第十三回北光学園友交会が無事に開催できて、大変感謝しているとこゝろです。それも友交会が開催する年に、新型コロナウイルス感染が日本はもとより世界的に流行し、ほとんどの行事、イベント等が中止になるなど友交会開催の目処が立たず自身も家族全員、新型コロナウイルスに感染するなどして四年目にしてようやく開催が決まり、十二回友交会から七年目で集まることができました。七年の歳月は長く感じ、個人的にはひ孫も出来、自分もそんな年齢になっ

て来たと実感するところです。九月七日ノースキングにて受付が始まり久々に会う邦子お姉さんスタッフの皆様さん、次々と懐かしい久しぶりの面々、何かワクワクする胸の内を覚えます。開会式が始まり挨拶も済み、この度は大阪や埼玉など遠い所からも参加していただき、五十三年振りに会う事が出来るのも友交会ならではのことでしよう。初代会長の中澤さんとも十一年振りに会い、毎年恒例の宴会、カラオケもしっとりとした歌からパワフルな歌まで年齢関係なく飲んで歌って踊ってと、楽しい宴が進み、年の離れた兄弟たちが大集合し一緒に過ごした時間は楽しいひと時でした。閉会式では寄付を募ったことで卒園生皆様の学園生への思いが強く感じたことでした。学園生徒の対面式では一人一人がしっかりとしているなあと感じるとともに、この次会う時は卒園生かもしれないですね。この度の友交会では職員の皆様には色々御協力有り難う

御座いました。三年後の友交会でもよろしくお願いいたします。参加された皆様にはこれからも健康で三年後の友交会には元気で再会出来るよう楽しみにしています。

「友交会初代会長より」

中澤 義之

9月7日、第13回友交会が開催されました。1979年に発足して今年で節目の45年目になりました。懇親会も例年通り楽しく語り合い、歌い踊る明るい元氣な皆さんの姿に私は安堵致しました。

発足当時はここまで続くとは私自身半信半疑の模索状態でしたが、これも学園側の援助など、もろもろお世話を頂けて成り立っております。園長先生始め職員の皆様方のお力添えの賜物と感謝申し上げます。今後も会長さんを

中心に末永く存続していただきたいと心より思っております。只、心配な事は今回も含め参加したくても出来ない環境にある方々です。参加していただいた方々はある程度自分たちの生活に余裕、支障のない方が多いと思うからです。参加したくても家庭の事情、金銭的負担、職場の理解等いろいろ困難がある事だろうと察します。実は友交会を立ち上げる際思ったことがあります。私たちが卒園した頃は卒園と同時に一般社会にいきなり飛び込み右も左も分からない状態でした。私だけだったのかと思いましたがそうでもないことが後ほどわかりました。何か相談したくても相談相手がありません。誰に？何処に？試行錯誤の生活でした。現在の卒園生の状態はわかりませんが、そのようなことから友交会を利用して卒園生の生活のサポート的な組織を作りたいと考えましたがそれは甘い思い付きでした。残念ながら我々が

卒園生をサポート出来るほどの知恵も余裕もなかったのです。私たち卒園生自身それぞれいろいろな事情を抱えており、そう簡単に心を開いて相談(サポート)できることは出来ないと判断いたしました。自分の生活で精一杯でしたのでこの考えは残念ながら頓挫してしまいました。今回参加できなかった方々、何時か困難を克服して一度参加してみてください。私たちは「血の繋がらない家族(兄妹)」です。今の自分に立ち向かい望みを捨てないで頑張ってください。周りに理解者がいれば遠慮なく相談してみましよう。最後に、どうか社会で卒園生として堂々と胸を張って生きて下さい。どんな職場であれ立場であれ「君(貴女)がいなければ仕事が回らない」と言われる人になってください。必要と思われる人間になる。大事なことです。きつと人生変わりますよ。「血の繋がらない兄妹」挑戦しよう。私

の寄稿は体調不良もありこれが最後になると思います。皆さんのご健勝と幸多い人生である事を祈り致します。

「サンタさん来園、クリスマス会」

小六 R・K

北光学園に久し振りにサンタさんが来ました。リモートよりも迫力があって格好良かったです。沢山のプレゼントやお菓子をくれました。プレゼントも嬉しかったけど、何より会えたことがとても嬉しかったです。ツーショットの写真も大事に飾っています。また会いたいです。

クリスマス会も久し振りにお客さんを招待。沢山の人に来てくれて嬉しかったです。出し物は緊張したけど、色んな人から褒められたので頑張った良かったと思えました。また来年もお客さんに来てもらってクリ

スマス会ができたと思います。

「シヨートステイ」

高三 H・I

私は約十二年間、同じ里親さんの家庭へシヨートステイに行かせてもらっていました。シヨートステイ先の家族はみんな明るく、楽しく関わってくれました。一緒にゲームや勉強、買い物などとても楽しい毎日でした。また、色々な場所に連れて行ってくれました。ボーリングやスケート、スキー、函館など数えきれないほど一緒に行ってどれも私の思い出です。特に函館は車移動だけで十時間かかり、初めての経験でした。なので車内でみんなと食事をして、寝たことがとても楽しかったです。他にも函館の色々な所を見て回ったことも楽しかったです。あまり経験できないことをさせてもらい感

謝しています。

楽しかったこと以外にも私はシヨートステイで学んだこともあります。一緒に買い物をしてお金の使い方を教えてもらったり、料理をしたりと将来に必要なことを沢山学びました。他にも自分の将来や進路やアルバイト、一人暮らしのこと、私が不安に思っていることにアドバイスをしてもらい助かりました。

いつも家族として暖かく迎えてくれてありがとうございます。思い出と感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいと思います。

### 感謝申し上げます

(八月一日～十二月三一日)

#### ○ボランティア

- ・小田島護様 こくわ狩り
- 山小屋招待
- ・佐藤果樹園 佐藤善一様
- ぶどう狩り招待

### 【寄附・寄贈等】

株式会社セブンイレブンジャパン様 (札幌市)、株式会社アンリール代表取締役 戸田縁様(北見市)、太田敏明様 (当麻町)、岩崎勝美様(北見市)、今野かずえ様(北見市)、中平祥司様(北見市)、(株)ながさわ様(美幌町)、花岡美和様(遠軽町)、実祝プランニング 十文字様(兵庫県)、佐藤敬子様(豊富町)、北見トヨペット株式会社代表取締役 國安幹夫様(北見市)、大須節子様(埼玉県)、鳥浜恵利子様(江別市)、佐藤果樹園様(増毛町)、小田島護様(網走市)、株式会社三輪様(東京都)、平田実様(深川市)、成川千春様(山形県)、青山夕璃様(東京都)、株式会社三共後藤建設遠軽支社 加藤澄雄様(遠軽町)、株式会社フレールベル館コンテンツ事業部出版マーケティング部CSチーム様 (東京都)、(株)光陽社自習ノート事務局様(愛知県)、有限会社アクト警備才フィス代表取締役 天間勝美様(札幌市)、小清水更生保護女性会様(小清水



マステック様(北見市)、遠軽清掃社様(遠軽町)、橋本政司様(生田原)、田中齊様(弟子屈町)、遠軽町共同募金委員会様、遠軽町社会福祉協議会様、遠軽町長 佐々木修一様、大湧工業有限会社代表取締役 佐野琢様、阿部宣雄様、遠軽町社会福祉協議会様(遠軽町)、生田原老人クラブ様、プライムいくたはら様、遠軽信用金庫生田原支店様(生田原)、遠軽ロータリークラブ様、遠軽青年会議所様、新山史賢様(遠軽町)、長谷川育子様、松岡登志雄様(北見市)、内竹薫様(紋別市)、米内山邦子様(遠軽町)、北海道共同募金会様(札幌市)、本田亜希子様(北見市)

【後援会費】  
田中文章様、上野壽男様、寺田貢様、遠軽信用金庫生田原支店様、亀田光次様、佐藤洋哉様、湯浅民子様、堤茂樹様、米内山邦子様、米内山仁様、岡部香様、橋本さとみ様、上村

美和子様、太田理様、佐藤由美子様、安藤達様、安藤いづみ様、丸山杏菜様、青山葉子様、窪内忠喜様、米内山寛章様、早川友美子様、山下達也様、岡田栄子様、山口弘子様、高戸英子様、藤本蓮様、内野晴美様、日野明美様(遠軽町)、星谷泰賢様(士幌町)、家村昭矩様(七飯町)、遠藤和子様、浅井春雄様(北見市)、三上照代様(釧路市)、堀田里佳様、中澤義之様、榎啓行様(札幌市)、成川千春様(山形県)、友交会の皆様

■行事予定

◇二月

一日(土) 女子スキーツアー 二日

二日(日) 節分豆まき

三日(月) (遠三)家庭学習期間

五日(水) 職員会議

(小)雪まつり

五日(水)

(中)学力テスト

(小)新入生一日体験

◇三月

一日(土) (遠)卒業式

二日(日) 卒園式

三日(月) ひな祭り

四日(火) (遠)休業日 七日

五日(水) 公立高校入試

七日(金) 給食会議・職員会議

八日(土) 夜間想定避難訓練

九日(日) (遠)卒業式振替休日

十日(月) 職員会議

十一日(火) (中)卒業式

十二日(水) 道立高校合格発表

十三日(木) (幼)卒園式

十四日(金)

十五日(土)

十六日(日)

十七日(月)

十八日(火)

八日(土) 日中想定避難訓練

九日(日) 給食会議・職員会議

十日(月) (小)全校参観日

十一日(火) 職員会議

十二日(水) 家庭・ふれあい通信日

十三日(木) (中・二)学年末テスト

十四日(金) 職員会議

一九日(水) 職員会議・(紋)修了式  
 二一日(金) (紋)年度末休業  
 二四日(月) (小・中) 卒業式・修了式

二五日(火) (遠)修了式・離任式  
 (幼)修了式

(小・中・遠)  
 年度末休業

二九日(土) 家庭・ふれあい通信日

【基本理念】  
 親の心で子どもの自立支援  
 【ホームページ】  
<http://www.hokkougakuen.jp>

子ども家庭支援センターオホーツク  
 電話 0158-45-3211  
 メール kodomo.ks.ohotsuku@wine  
 plala.or.jp  
 相談料無料。匿名でも結構です。

光学園在園数

(一月一日現在)

合計	その他	高校生	中学生	小学生	幼児	
20	0	7	8	3	2	男子
14	0	5	6	3	0	女子
34	0	12	14	6	2	合計

【定員】 四〇名

地域小規模児童養護施設在園数

(一月一日現在)

合計	その他	高校生	中学生	小学生	幼児	
0	0	0	0	0	0	男子
4	0	1	0	2	1	女子
4	0	1	0	2	1	合計

【定員】 六名